



田辺三菱製薬

田辺三菱製薬株式会社

# 2010年度 決算説明会

代表取締役社長

土屋 裕弘

2011年5月12日

於：野村コンファレンスプラザ日本橋

# 2010年度 決算概要

## (平成23年3月期)

# 2010年度決算概況

	2010年度	2009年度	増減		通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,095	4,047	+47	+1.2	4,010	102.1
売上原価	1,545	1,478	+67	+4.6	1,540	100.4
売上原価率	37.7%	36.5%			38.4%	
売上総利益	2,549	2,569	-19	-0.8	2,470	103.2
販管費	1,783	1,954	-170	-8.7	1,800	99.1
営業利益	765	614	+151	+24.6	670	114.3
経常利益	766	616	+150	+24.4	670	114.5
当期純利益	377	302	+74	+24.8	355	106.3

通期予想：2010年10月29日 第2四半期決算発表時に公表した2010年度予想値

	2010年度	2009年度	増減		通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,095	4,047	+47	+1.2	4,010	102.1
（うち海外売上高）	(257)	(268)	(-10)	(-4.1)	(275)	(93.7)
医薬品事業	4,002	3,957	+44	+1.1	3,907	102.4
国内医療用医薬品	3,616	3,546	+70	+2.0	3,507	103.1
海外医療用医薬品	213	228	-15	-6.7	221	96.4
一般用医薬品	54	49	+4	+9.2	52	103.0
医薬品その他	118	133	-14	-11.2	126	93.7
その他	93	90	+2	+3.3	103	90.4

# 国内医療用医薬品 主要製品売上高

【2010年度決算概況】

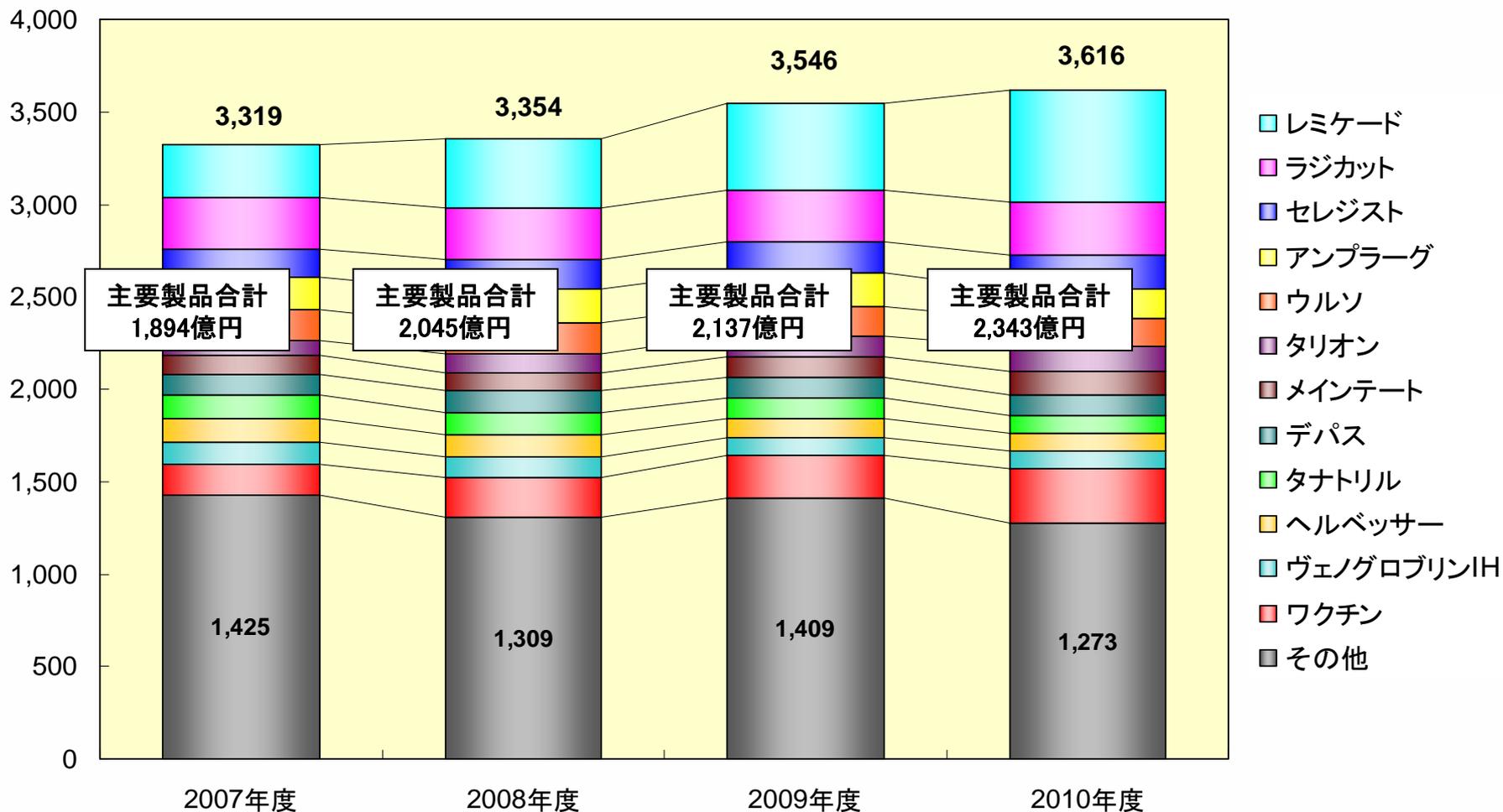


	2010年度	2009年度	増減		通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	3,616	3,546	+70	+2.0	3,507	103.1
レミケード	604	471	+132	+28.1	607	99.5
ラジカット	287	279	+7	+2.6	282	101.5
セレジスト	180	168	+11	+7.0	177	101.5
アンプラーグ	164	183	-19	-10.6	159	103.0
ウルソ	153	162	-9	-5.6	150	102.3
タリオン	134	106	+27	+26.2	125	106.8
メインテート	123	110	+12	+11.6	118	103.9
デパス	114	115	-1	-1.2	111	103.0
タナトリル	96	111	-14	-13.2	92	104.1
ヘルベッサー	96	107	-11	-10.6	95	101.4
ヴェノグロブリンIH	96	96	0	-0.2	87	109.4
ワクチン	296	229	+66	+28.8	267	110.6
(ミールビック)	(122)	(117)	(+4)	(+4.2)	(118)	(104.0)
(インフルエンザ)	(71)	(63)	(+7)	(+12.1)	(72)	(97.8)
(ジェービックV)	(69)	(20)	(+49)	(+244.3)	(47)	(147.2)

ワクチンおよびインフルエンザワクチンは、インフルエンザ(H1N1)2009ワクチンを除く

# 国内医療用医薬品主要製品の売上推移

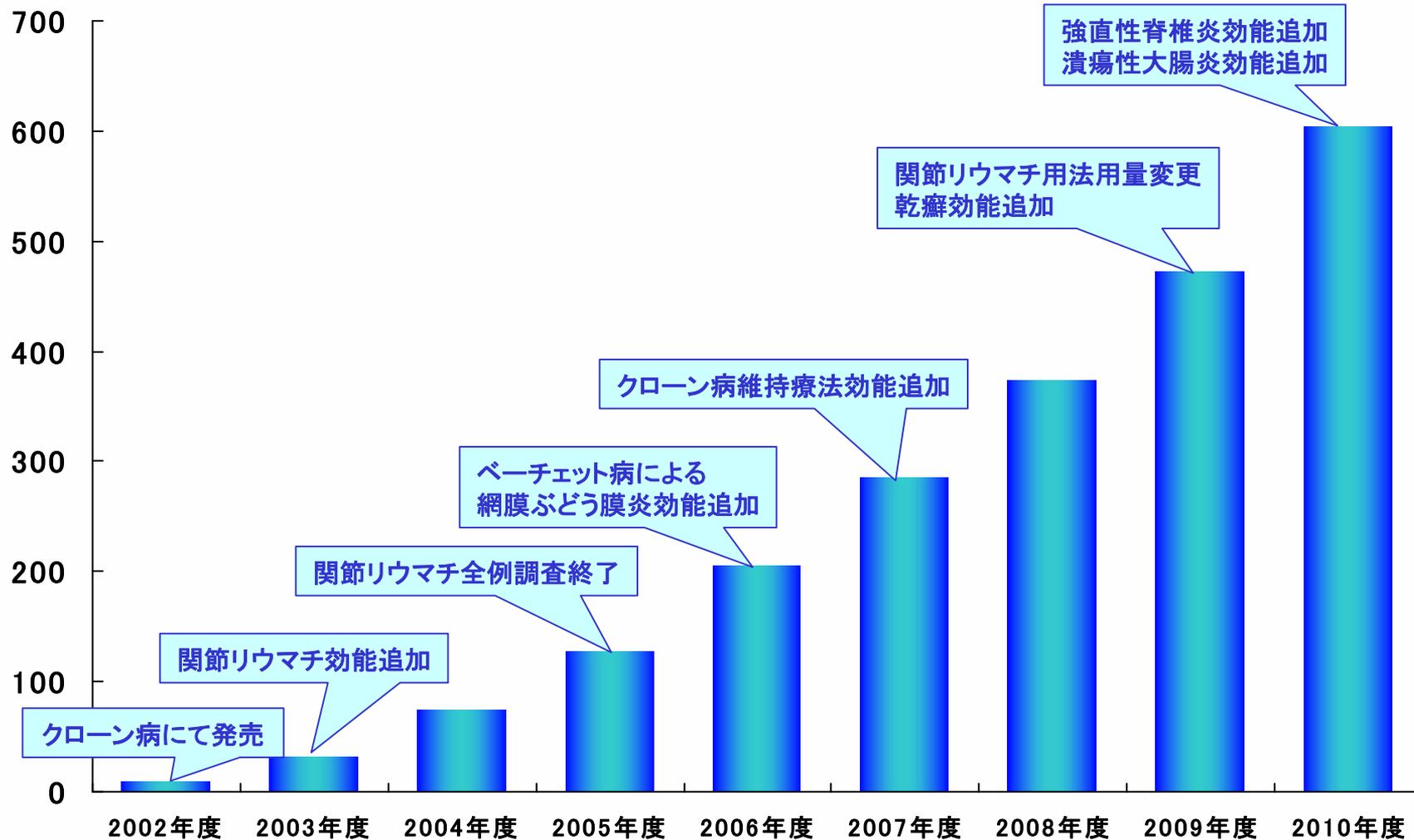
億円



# レミケード LCMと売上推移

売上高(決算ベース)

億円



# 売上原価・販管費

【2010年度決算概況】



	2010年度	2009年度	増減		通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,095	4,047	+47	+1.2	4,010	102.1
売上原価	1,545	1,478	+67	+4.6	1,540	100.4
売上原価率	37.7%	36.5%			38.4%	
売上総利益	2,549	2,569	-19	-0.8	2,470	103.2
販管費	1,783	1,954	-170	-8.7	1,800	99.1
研究開発費	657	830	-172	-20.8	700	94.0
人件費	525	530	-5	-1.0	510	103.0
販売促進費	113	119	-6	-5.5	118	95.8
のれん償却額	101	101	0	+0.1	101	100.5
その他	386	372	+13	+3.7	371	104.2
営業利益	765	614	+151	+24.6	670	114.3

# 営業外損益・特別損益

【2010年度決算概況】



	2010年度	2009年度	増減		通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	765	614	+151	+24.6	670	114.3
営業外損益	1	1	0			
経常利益	766	616	+150	+24.4	670	114.5
特別利益	6	0	+5		5	125.8
特別損失	132	107	+24		75	176.2
投資有価証券評価損	80	2	+77			
災害による損失	21	-	+21			
減損損失	8	18	-10			
事業休止関連損失	7	32	-25			
特別退職金	4	-	4			
当期純利益	377	302	+74	+24.8	355	106.3

# 2011年度 業績予想

(平成24年3月期)

# 2011年度 業績予想

	2011年度 (予想)	2010年度 (実績)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,030	4,095	-65	-1.6
売上原価	1,505	1,545	-40	-2.6
売上原価率	37.3%	37.7%		
売上総利益	2,525	2,549	-24	-1.0
販管費	1,895	1,783	+111	+6.2
営業利益	630	765	-135	-17.7
経常利益	630	766	-136	-17.8
特別利益	-	6	-6	
特別損失	10	132	-122	
当期純利益	355	377	-22	-6.0

# 2011年度に上市を期待する新製品等

承継品

クレメジン  
(慢性腎不全)  
第一三共より承継  
2011年4月より販売開始

代謝・循環

炎症

中枢

その他

新製品

レクサプロ  
(うつ)  
2011年4月、持田製薬承認取得  
持田製薬と共同販売

シンポニー  
(関節リウマチ)  
2010年6月、ヤンセン申請  
ヤンセンと共同販売

MP-424  
(C型慢性肝炎)  
2011年1月申請

アクレフ  
(癌性突出痛)  
2010年10月承認取得

FTY720  
(多発性硬化症)  
2010年12月申請

効能追加

メインテート  
(慢性心不全)  
2010年11月、公知申請

レミケード  
(クローン病用法用量変更)  
2010年12月申請

2011年度

	2011年度 (予想)	2010年度 (実績)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,030	4,095	-65	-1.6
売上原価	1,505	1,545	-40	-2.6
売上原価率	37.3%	37.7%		
売上総利益	2,525	2,549	-24	-1.0
販管費	1,895	1,783	+111	+6.2
研究開発費	690	657	+32	+4.9
人件費	513	525	-12	-2.3
のれん償却額	101	101	0	-0.5
その他	591	499	+91	+18.3
営業利益	630	765	-135	-17.7

## ■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 中長期的な観点で研究開発や営業活動の強化のための投資を積極的に実行することにより、企業価値の増大をはかるとともに、株主の皆様への利益還元を安定的、継続的に充実させていく

## ■ 連結配当性向35%（のれん償却前利益ベース）を基本とする

## ■ 中長期的にはさらなる利益還元の充実をめざす

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度 (予想)
年間配当金	28円	28円	28円	28円
配当性向	43.0%	39.0%	32.9%	34.5%

※ 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

# 中期経営計画08-10の総括

## キー・コンセプト Dynamic Synergy for 2015

充実した経営資源を最大限に活用し、全社全員の叡智とエネルギーを結集して、新たなドメインやビジネスモデルを生み出すことを「Dynamic Synergy」と位置付け、田辺三菱製薬は、その実現に挑戦する

### <重点課題>

- ◆ 国内営業のプレゼンス向上
- ◆ 重点開発プロジェクトの確実な推進
- ◆ 海外医薬品事業展開の推進
- ◆ ジェネリック医薬品事業の推進
- ◆ 効率的な組織・コスト構造の構築

## ◆ 国内営業のプレゼンス向上

- ✓ 中計重点6品目(※)の売上拡大
  - ・ 専任担当者(レミケード、脳領域)の増員や重点品目への活動強化
  - ・ 2007年度売上:1,114億円→2010年度売上:1,438億円(目標1,460億円)
  - ・ レミケードはLCM戦略の進展もあり、売上600億円を達成(目標500億円)  
※レミケード、ラジカット、アンプラーグ、ウルソ、タリオン、タナトリル
- ✓ 仕入品(クレメジン、レクサプロ)の獲得

## ◆ 重点開発プロジェクトの確実な推進

- ✓ 国内開発品(MP-424、MP-513、TA-7284)の着実なステージアップ
- ✓ 米欧開発品(MCI-196、MP-146)も概ね順調に推移
- ✓ FTY720(ノバルティス導出:Gilenya)は、米欧他で承認取得

# 新たな成長ドライバーの創出

			P2	P3	申請	承認	
FTY720	多発性硬化症	日本					ノバルティスファーマと共同開発 2010年12月に申請
		米・欧					ノバルティスに導出、 米(2010年9月)、欧(2011年3月) 他で承認取得
MP-424	C型慢性肝炎	日本					2011年1月に申請
TA-7284	2型糖尿病	日本					P2終了し、P3準備中
		米・欧					ジョンソン・エンド・ジョンソンに 導出、2009年9月にP3開始
MP-513	2型糖尿病	日本					2009年10月にP3開始
		欧州					2009年8月にP2開始 導出の予定
MCI-196	高リン血症	米・欧					P3実施中
MP-146	慢性腎臓病	米・欧					P3実施中
シンポニー (CNT0148)	関節リウマチ	日本					ヤンセンファーマが 2010年6月申請
レクサプロ	うつ病	日本					持田製薬が2011年4月承認取得 持田製薬と共同販売

## ◆ 海外医薬品事業展開の推進

- ✓ 米国販売会社(ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ)、中国販売会社(広東田辺医薬)の設立
- ✓ 欧州アルガトロバン事業、既存アジア事業の着実な成長
- ✓ 中国市場の成長スピードとの乖離に課題残る

## ◆ ジェネリック医薬品事業の推進

- ✓ 田辺製薬販売の設立、長生堂製薬販売子会社との合併による品揃え強化(135成分)や販路拡大
- ✓ 2010年度目標売上高140億円と黒字化を達成

## ◆ 効率的な組織・コスト構造の構築

- ✓ コストシナジー累計235億円を達成(目標240億円)
- ✓ 機能子会社統合の達成、拠点統合は順調に推移
- ✓ 要員適正化に課題残る

## 中期経営計画08-10の総括(数値目標)

	中計経営目標	2010年度実績	差異
売上高	億円 4,600	億円 4,095	億円 △504
営業利益	950	765	△184
当期純利益	560	377	△182
研究開発費	820	657	△162

社内外の環境変化(連結子会社の連結除外、医療費抑制策など)が大きく、売上、利益とも目標を下回る結果となった

# 売上高・営業利益推移

売上高(億円)

営業利益／当期純利益(億円)



- 「めざす姿※1」の実現に向け、「患者さんへの貢献」を最優先に据え、医療ニーズにあった医薬品を患者さんへ確実に提供することにより、社会からの信頼回復をめざす。
- 品質管理問題ならびに東日本大震災への対応を踏まえ、2011年度は、医薬品の安定供給、品質重視・適正使用のさらなる徹底を重要課題とする。
- 「中期経営計画08-10」において進展した新製品パイプラインを、次期中期経営計画の確実な成長ドライバーとするため、経営体制のさらなる強化を図る。
- 次期中期経営計画は、売上高5,000億円、営業利益1,000億円を視野に入れて策定する。

※：「めざす姿」：国際創薬企業として、社会から信頼される企業になります

## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。